

## 平成31年 3月の思いやり通信

目次

- (1)  太陽光 中古施設に脚光
- (2)  温暖化 宇宙から捉える 衛星のデータ精度向上 公共財に
- (3)  外食ゴミから発電 農水省など 下水処理場で実証へ

 エコライフ — 快適に住むための間取りの工夫1

南側に日当たりのよいリビングが定位置

### (1) 太陽光 中古施設に脚光

適地減少など新設難しく 再生エネシフト追い風

- ・稼働済みの太陽光発電施設を買い取る動きが活発に。
  - ・2020年度には中古取引が2016年度の4倍に。
  - ・適地の減少や電力買い取り価格の下落で新設は難しくなっています。
- (2019年2月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (2) 温暖化 宇宙から捉える 衛星のデータ精度向上 公

共財に

- ・日本は早くから温暖化ガスデータ取得専用の衛星を打ち上げ、観測で貢献。
- ・「いぶき2号」の観測対象は、温暖化の主因とされるCO<sub>2</sub>とメタン。

☆いぶき2号の新たな機能

- ①雲のない地点を選んで観測する機能
- ②特定の地域を集中して観測できる機能
- ③一酸化炭素(CO)を同時に観測する機能



・温暖化ガスを観測する衛星は日本に続き米国が2014年に、中国も2016年に打ち上げ。

※温暖化ガス CO<sub>2</sub>削減は世界的課題

- ・地球を温める効果のある気体を指し、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やメタン、フロンなどが代表例。
- ・人間活動によって増えた温暖化ガスはCO<sub>2</sub>が76%を占めます。

“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社  
大阪市大正区千島3-18-9 TEL06-6552-0781

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 2

・世界のCO<sub>2</sub>の年平均濃度は2015年に初めて400PPM(PPMは100万分の1)を超えました。

・気温上昇を産業革命前より2度未満とするためには21世紀末時点で450PPM以内に抑えなければならず、CO<sub>2</sub>削減は世界的な課題。

・日本の温暖化ガスの排出量は2013年度が過去最高。その後4年連続で減少中。

(2019年2月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (3) 外食ゴミから発電 農水省など

#### 下水処理場で実証へ

・農林水産省と国土交通省は、外食産業などから出る食品廃棄物を下水処理場でバイオガス発電に生かす取り組みを始めます。

・食品産業全体から出る廃棄物は、年間約2000万トン。

・最も多いのは食品製造業で1617万トンですが、飼料や肥料などへの再利用が進み、95%が有効利用されています。

・外食産業は199万トンのごみが出ますが、分別が難しく、再生利用している割合は2割程度。

(2019年2月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



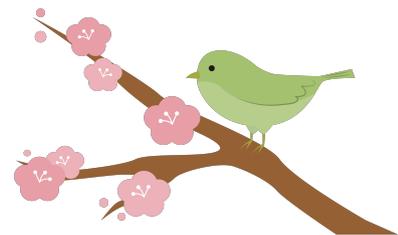


## エコライフ — 快適に住むための間取りの工夫1

### 南側に日当たりのよいリビングが定位置

- ・家族が集い、一日のうちで多くの時間を過ごす場所であるリビングは、一番明るい場所、つまり南側に置くのが基本。
- ・設計するときは最初にリビングの位置から決めていきます。
- ・近隣に建物があって、日差しがあまりとれない場合、明るさを取り入れる工夫をします。
- ・吹き抜けや天窓をつくるといった工夫。
- ・2階の窓から光を入れて、吹き抜けで1階のリビングまで届くようにしたり、高い所や壁の横に窓を設けるなどして、明るさを確保することができます。
- ・南側にリビングをつくらないほうが良い場合も。南側が極端に狭かったり、あまり見たい景色ではないといったケース。
- ・北側が空けているのであれば、リビングとダイニングをひとつにして広い空間をつくり、ダイニング側から光を取り入れるようにします。
- ・北側にリビングを、南側にダイニングを置き、内装の色を工夫して光を反射させれば、リビングにも明るさをとどけることが可能。
- ・リビングとダイニングを東西に並べて奥行を減らして作り、南北両側に窓をつくれば明るさを取り入れることができます。
- ・南側に建物が隣接している場合の工夫例：吹き抜けを使い、1階の奥まで光を導き入れます。
- ・北側にリビングを配置する間取り例：リビングダイニングを敷地の北側に寄せ、南側にできる限りスペースを確保し、中庭を作ります。中庭からリビングダイニングへ光を取り込む計画。

(高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)



テーマは「**思いやり**」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 4